

時間割コード	G1D11807	開講年度	2026				
授業題目	クリティカル・リーディングⅡ(上級)					担当教員	WINDLEY SAMUEL PETER
英文授業名	Critical ReadingⅡ						
単位数	1	講義期間	後期	曜日・時限	月曜・1時限	対象学生	M I (医) 《3》
講義室	共通教育56講義室			授業形態	実習	遠隔授業科目	備考
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】
	大学D P						
	学士の称号にふさわしい基礎学力と専門的学力					⇔	大学での学修の土台となるAcademic Skillsを使えるようになる。
(2)授業で学べる「テーマ」	多文化協働						
(3)全学横断特別教育プログラム							
(4)授業の概要	Critical Reading I に引き続き、様々なジャンルの英文（雑誌・新聞、文学作品、映像作品のスク립ト、討論、講義、講演等）の内容や意図を正確に把握し、分析・解釈・評価等を行うことにより、アカデミックな英文をクリティカルに読み解く姿勢を身につけていく。その際、クリティカルな読解力・思考力の育成に配慮した教材を用いて、分析、解釈、評価などのスキルが身につくよう工夫する。 （Critical Readingとは、単に文章を訳し理解する受動的な読解のことではなく、より積極的に文章の内容や意図を吟味し、分析・解釈・評価する読解のことを意味する。）						
(5)授業のキーワード	Critical Reading Critical Thinking						
(6)授業計画	第1週：概要・ガイダンス 第2週：「クリティカル・リーディング」のスキルの習得 第3週：Unreliable narration・プレゼンテーション 第4週：Unreliable narration・小テスト 第5週：Juxtaposition・プレゼンテーション 第6週：Juxtaposition・小テスト 第7週：Metaphor・プレゼンテーション 第8週：Metaphor・小テスト 第9週：Repetition・プレゼンテーション 第10週：Repetition・小テスト 第11週：Symbolism・プレゼンテーション 第12週：Symbolism・小テスト 第13週：Ambiguity・プレゼンテーション 第14週：Ambiguity・小テスト 第15週：復習・期末試験の準備・授業アンケート 第16週：期末試験						
(7)成績評価の方法	授業期間中の課題（50%） - 授業中に書く感想（14個）（14%） - 授業中のチームプレゼンテーション（6件）（18%） - 授業中の小テスト（6つ）（18%） 期末試験（50%）						
(8)成績評価の基準	授業で解説した内容と同レベルの問題が 60%以上解ければ「合格水準にある(可)」 70%以上解ければ「合格水準よりやや上にある(良)」 80%以上解ければ「合格水準よりかなり上にある(優)」 90%以上解ければ「卓越している(秀)」 とみなす。						
(9)事前事後学習の内容	・この授業は1単位のため、15時間以上の授業時間外学習を必要とします。 ・対応する週の授業の前に「Bartleby, The Scrivener」の次のページを読む必要があります。 第2週：1～5ページ 第3週：6～9ページ 第4週：10～16ページ 第5週：17～22ページ 第6週：23～28ページ 第7週：29～33ページ 第8週：34～39ページ 第9週：40～46ページ 第10週：47～51ページ 第11週：52～56ページ 第12週：57～61ページ 第13週：62～67ページ 第14週：68～77ページ 第15週：78～86ページ						

(10)履修上の注意	・単位を与えられるためには、授業に出席するだけではなく、予習復習などの授業時間外学修を行わなければならない。 ・授業前に「Bartleby, The Scrivener」の指定ページ数を読んでいない場合、授業活動に参加できなくなります。翻訳に頼らず、英語のテキストを注意深く読むようにしてください。 ・すべての授業に筆記用具、ノート、パソコン等が必要です。 ・各授業の前にeALPSで座席表をご確認してください。 ・出席は出席確認システムを使用して厳密に記録されるため、着席したらすぐにQRコードをスキャンしてください。 ・授業開始から5分間は重要な活動を行いますので、遅刻はしないで下さい。 ・20分以上遅刻した場合は欠席とみなされます。 ・遅刻により欠席した分数は合計され、合計が20分を超える場合、欠席とみなされます。 ・各授業の直後に出席確認システムで出席記録を確認し、間違いがあった場合には直ちに教師にメールしてください。
(11)質問,相談への対応	メールにて受け付ける。アドレスはeALPSで確認できます。
(12)授業への出席	・全ての回に出席することを基本とします。 ・授業を4回以上欠席した場合、この授業の達成目標に到達することができないため、成績評価の対象外（評点は0点）となります。 ・感染症報告システムに登録し「出席停止」と判断され、授業に出席できなかった場合は欠席とはみなしません。 ・「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により、授業に出席できなかった場合は欠席とします。
(13)授業に出席できない場合の学修の補充	・「出席停止」により授業に出席できなかった場合は、健康安全センターからのメールを担当教員に転送して、学修の補充に関する指示を受けてください（『共通教育履修案内』参照）。 ・「出席停止」ではなく「学修の補充の対象とする事由」（『共通教育履修案内』参照）により出席できず、補充を希望する場合は、所定の方法（『共通教育履修案内』参照）により、共通教育窓口で申請してください。（この場合は、出席扱いにはなりません。）
【教科書】	『Bartleby, the Scrivener: A Story of Wall-Street』 ペーパーバック - 大判プリント、2025年1月14日 ISBN-13: 979-8306954806 URL: https://www.amazon.co.jp/dp/B0DT25CJ7Z 第1週の授業の前にAmazonで購入してください。（残念ながらAmazonからしか購入できません。生協から購入できません。） 注意：Amazonでは数十種類のバージョンが販売されています。間違ったバージョンを購入しないでください。上記のURLをご利用ください。
【参考書】	指定しない